

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)博多駅前ホテル計画新築工	階数	地上12F
建設地	福岡市博多区博多駅前4丁目171番	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	300 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年4月 予定	評価の実施日	2016年12月19日
敷地面積	797 m ²	作成者	松本拓也
建築面積	570 m ²	確認日	2016年12月20日
延床面積	5,107 m ²	確認者	定森淳一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 71% (131 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の: 71% (131 kg-CO₂/年・m²)

④上記+: 71% (131 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	<ul style="list-style-type: none"> 「都会の中の洗練されたホテル」をコンセプトとしている。 室内環境、サービス性能への充実した配慮を行っている。・緑地、中高木を設けている。 高い省エネルギー性能を実現させている。・リサイクル材を多用している。・敷地外環境への配慮を行っている。 	その他 0
Q1 室内環境	<ul style="list-style-type: none"> T-3を採用し開口部遮音性能への配慮・複層ガラスの採用等、外皮性能への配慮・高い昼光率の確保・F☆☆☆☆を採用し、空気質環境への配慮・換気性能への配慮 	Q3 室外環境(敷地内) <ul style="list-style-type: none"> ・緑地、中高木を設けている・景観への配慮
Q2 サービス性能	<ul style="list-style-type: none"> ・防汚性の高い建材を採用し、建物の維持管理に配慮・耐震性への配慮・耐用年数の長い部品、部材を多用している・災害時における設備機器の信頼性は高めている 	LR3 敷地外環境 <ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギーへの取り組みを行う事で、LCCO₂排出率は71%と、地球温暖化の防止に配慮している・光害対策がドラインチェックリスト、広告物照明配慮事項の過半を満たす等、光害の抑制に努めている
LR1 エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・高性能断熱材、複層ガラスの採用等、建物の熱負荷抑制に配慮・LED照明等の高効率設備機器を採用し、設備システムの高効率化に努めている 	
LR2 資源・マテリアル	<ul style="list-style-type: none"> ・タイル、ビニル床シート、OAフロア等リサイクル材を多用している・防水工事のプライマー等、科学物質の使用削減に努めている 	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される